

自然感じながら 園児38人田植え

福井のこども園

社中央第一こども園と同第二こども園の年長児38人がこのほど、福井市種池町の田んぼで田植えを体験した。昔ながらの手植えで、泥に足を取られつつ懸命に取り組んだ。

同園では10年前から、食育教育の一環として田植えから刈り取り、脱穀、もみすりなど年間を通じて米作



水田に入り苗を植える園児
福井市種池町

りを体験している。

地元農家やJA営農指導員らの協力で約50平方メートルの田んぼに苗を植えた。砂場で手植えの練習をしたという園児らは、田んぼの中のカエルやメダカを見つけるなど地域の自然を感じながら楽しんだ。

初めて田植えをしたという石田葵桜ちゃん(5)は「苗を3本ずつに分けるのが難しかった。おにぎりにするのが楽しみ」と笑顔で話した。
(倉谷千晴)